

ピペロニルブトキシドに係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての意見・情報の募集結果について

1. 実施期間 令和7年9月10日～令和7年10月9日
2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送
3. 提出状況 2通
4. 頂いた意見・情報及び食品安全委員会の回答

	頂いた意見・情報※	食品安全委員会の回答
1	<p>私は日本国憲法 前文および第1条を根拠に国民主権＝国の設計権の行使者として以下を設計指示する</p> <p>【設計指示】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 複合暴露の再評価を行え ピペロニルブトキシドは共力剤であり、複数農薬と同時に摂取される 単独評価ではなく複合影響を前提に安全係数を設定せよ 2. 感受性の高い集団を守れ 胎児・乳幼児・妊婦・高齢者の暴露量に最大限配慮し より広い安全域を確保する指標を設計せよ 3. 国民への情報を全面開示せよ 残留基準値・検出状況を分かりやすく公表し 国民が食品を選択できる判断材料を明示せよ 4. 新知見による再評価を義務化せよ 毒性学データが更新された際には迅速に見直し 国民が安心できるループを制度化せよ <p>国民の健康は未来の設計基盤である 迅速に、かつ明確に対応せよ</p>	<p>1. ピペロニルブトキシドについては、現在国内においてポジティブリスト制度導入に伴う暫定基準が設定されています。今回の食品健康影響評価は、厚生労働省及び農林水産省による、この暫定基準の見直しに伴う評価要請に基づくものです。</p> <p>ピペロニルブトキシドは国内において動物用医薬品としての承認及び農薬としての登録はありませんが、農林水産省よりピペロニルブトキシド等を含む新規動物用医薬品製剤の製造販売承認申請に伴う評価要請を受けており、今後動物用医薬品専門調査会での調査審議を予定しています。動物用医薬品製剤のうち、複数の成分を含む配合剤については、これまで配合剤を投与した急性毒性試験等の試験成績を用いて食品健康影響評価を行っています。</p> <p>2. ばく露評価は消費者庁が実施していることから、消費者庁に情報提供いたします。</p> <p>なお、本剤の評価においては、「動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針」（平成30年4月10日付け食品安全委員会決定）及び「残留農薬に関する食品健康影響評価指針」（令和元年10月1日付け食品安全委員会決定）等に基づき、各試験で得られた無毒性量又は最小毒性量のうち最小値を基に許容一日摂取量（ADI）を、ヒトと毒性試験に供した動物との種差及びヒトの個人差を考慮した安全係数100で除して設定しています。また、海外の評価機関の評価結果を総合的に検討した結果、急性参照用量（ARfD）については設定する必要があると判断しています。食品安全委員会は、今回設定したADIに基づく適切なリスク管理措置</p>

		<p>が実施されれば、本剤の食品を介した安全性は担保され则认为しています。</p> <p>3. 食品衛生基準行政は消費者庁、食品衛生監視行政は厚生労働省が担っていることから、消費者庁及び厚生労働省に情報提供いたします。</p> <p>4. 食品安全委員会では、食品安全基本法に基づき食品の安全性の確保に関する国内外の情報の収集を行っており、「動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針」（平成30年4月10日付け食品安全委員会決定）及び「残留農薬に関する食品健康影響評価指針」（令和元年10月1日付け食品安全委員会決定）に基づき、毒性影響に関する判断を見直す必要が生じた場合は評価の見直しを行うこととしています。</p> <p>今後も、食品の安全性の確保に関する国内外の情報の収集に努めてまいります。</p>
2	<p>突然、ピペロニルブトキシドに係る食品健康影響評価に関する審議結果（案）についての意見・情報の募集についてのパブリックコメント担当様へメールを拝送することをお許しください。</p> <p>早速、ピペロニルブトキシドが怖いので奇跡のリンゴという本で有名な木村秋則さんを見習って、4年から30年くらい黙って見ていて自然栽培ではったらかしか天敵農法とか殺虫剤や農薬に頼らないで自給自足で原価20円の地域商品券を作って、すべての日本人に年間1000万円以上支給して、農薬、重イオンビーム、その他すべてのものを使用して、実験用マウス、サル、線虫、実験に協力する人、その他の実験用動物で実験した場合と、実験しなかった場合と比較して平均寿命前に健康を悪くして寿命を迎えたのか、迎えなかったのか、調べて健康を悪化させて実験用動物の平均寿命前に亡くなった農薬は販売、輸出入、作ることやめて、過去最高の平均寿命より長く生きられるまたは維持できる農薬を販売、輸出入、作ることができるように支援して下さいようお願い申し上げます。</p> <p>以上、お忙しい中最後までご高覧下さりありがとうございます。</p>	<p>いただいた御意見は、動物用医薬品及び農薬の使用に関する御意見として、農林水産省に情報提供いたします。</p>

--	--	--

※頂いたものをそのまま掲載しています。